



講演会

ファッションとユーモア

参加無料

要申込

財団コレクションを中心に (歴史編)

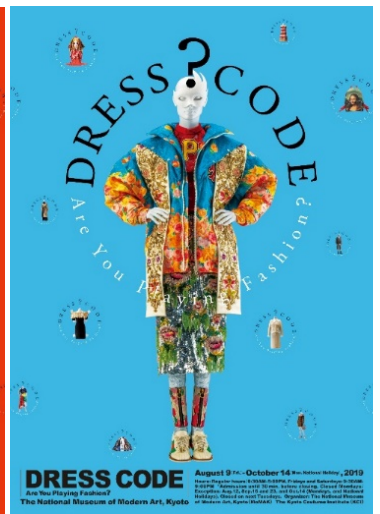
2020. **03.06** 金

18:30 - 20:00 (18:00 開場)

展覧会「ドレスコード？」展の企画を通して (現代編)

2020. **03.08** 日

14:00 - 15:30 (13:30 開場)



©京都服飾文化研究財団

講師

おがた みちまさ
小形 道正

公益財団法人京都服飾文化研究財団研究員。東京大学大学院総合文化研究科博士課程満期単位取得退学。専攻は文化の社会学、社会理論、現代社会論。主な論文に「生活着の着物と衣服を作ること—終戦から1950年代」『Fashion Talks...』vol.6, 8、「ファッション・デザイナーの変容—モードの貫徹と歴史化の行方」『社会学評論』67巻1号、「事件を描くとき—〈外〉からの疎外と内なる〈外〉」『作田啓一vs.見田宗介』弘文堂など。



コーディネーター **森田 亜矢子** もりた あやこ 関西大学人間健康学部助教

講演場所

関西大学梅田キャンパス 4階ラボ
KANDAI Me RISE
〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町1番5号

 **ACCESS**



阪急「梅田駅」茶屋町側から徒歩5分
JR「大阪駅」から徒歩10分

講演内容

第1回 財団コレクションを中心に (歴史編) 2020.03.06 金

1978年に設立した京都服飾文化研究財団は主に18世紀の西洋の歴史衣裳から現在のファッションを収集しています。第1回は財団が所蔵するコレクションを中心に、ファッション史のなかにみられるユーモア溢れる衣装を紹介しながら、着ることの意味について考えてみたいと思います。

第2回 展覧会「ドレスコード?」展の企画を通して (現代編) 2020.03.08 日

京都服飾文化研究財団は5年に1度、大規模な展覧会を実施しています。2019年はその年にあたり「ドレスコード?—着る人たちのゲーム」展は、京都国立近代美術館をかわきりに現在巡回中です。第2回は本展企画の原案に添いながら、視る／視られるものとしてのファッションの面白さについてお話しします。

「ドレス・コード?—着る人たちのゲーム」展 (2019年 京都国立近代美術館) ©京都服飾文化研究財団、福永一夫撮影
下段 (壁面): 都築響一 (選)
《ニッポンの洋服》2019年 作家蔵



申込締切

2020.02.21 (金)

定員50名・参加費無料

ファッションとユーモア 申込フォーム

FAX・E-mail・はがきにてお申し込みください

申込日 (マルをつけてください)		第1回に申し込みます ・ 第2回に申し込みます ・ 第1回と第2回に申し込みます	
住所	〒		
氏名	ふりがな	TEL	— —

お問合せ
お申込先

関西大学堺キャンパス事務室 地域連携担当「ファッションとユーモア」係
〒590-8515 堺市堺区香ヶ丘町1-11-1 FAX: 072-229-5082 TEL: 072-229-5024
E-mail: sakai-info@ml.kandai.jp